

山梨県立あけぼの支援学校 第1回 学校運営協議会 協議結果について

日時：令和8年6月23日（火）午後2時～午後3時

場所：山梨県立あけぼの支援学校 ほほえみホール

<次第>

- 1 開会の言葉
- 2 学校長挨拶
- 3 委員紹介（自己紹介）
- 4 学校運営協議会の運営等に関する要綱について
- 5 会長・副会長選出
- 6 会長・副会長挨拶
- 7 学校概要説明
- 8 令和7年度学校評価報告
- 9 議事（議長：会長）
 - （1）令和8年度学校運営基本方針について
 - （2）熟議（学校運営基本方針について）
 - （3）拡大いじめ防止対策委員会について
 - （4）その他
- 10 連絡事項
 - （1）令和8年度年間行事予定について
 - （2）令和8年度学校評価について
 - （3）令和7年度の時間外在校時間の状況について
 - （4）今後の予定
- 11 閉会の言葉

<会長・副会長選出について>

・会長 雨宮貴雄委員、副会長 山本剛委員に決定

<議事>

議長は規定により雨宮会長に依頼。

(1) 令和8年度学校運営基本方針について

学校長より学校運営基本方針の説明があり、承認された。

目指す学校像

1. 児童生徒の質の高い自立と社会参加に向けた学びを目指す学校
2. あけぼの医療福祉センターとの協働を重視した、安全で安心な学校
3. 地域や関係機関との連携を通じて、特別支援教育を推進する学校
4. 教職員が学び続ける姿勢をもつと共に、働きやすさと働きがい両立する学校
5. 事務室の経営参画を推進し、教育環境整備や予算執行を計画的・組織的に行う学校

特に重視する重点目標として、

- ・ ICT 機器の活用により児童生徒の表出やコミュニケーション能力を高めること
- ・ 病弱教育への対応力向上のため、研修や研究活動を充実させること

が説明された。また、施設設備の改善や修繕計画についても説明が行われた。

(2) 熟議（意見交換）

ICT 活用について

- ・ 小・中学部では児童生徒1人に1台のiPadを配置。
- ・ 視線入力装置等も整備されているが、さらなる活用や課題解決が必要との意見が出された。
- ・ ICT 機器の活用目的や成果を具体的に示してほしいとの意見があった。

病弱教育について

- ・ 高等部では病弱教育課程を設置しているが、現在在籍者はいない。
- ・ さまざまな課題を抱える生徒の入学が想定されるため、対応力向上が必要との認識が示された。
- ・ 医療機関や心理士との連携強化の必要性が指摘された。
- ・ 本校を選択してもらうための魅力づくりや支援体制の整備について今後も検討していくこととなった。

全体まとめ

- ・ ICT 機器は児童生徒の意思表出や主体的なコミュニケーションを支える重要な手段であることを再確認した。
- ・ 病弱教育については、本校を選択してもらえる環境づくりを1年間かけて検討し、次回協議会でさらに議論を深めることとなった。

(3) 拡大いじめ防止対策委員会

資料に基づき説明が行われた。次回協議会で、いじめに関する実態調査結果を報告する予定である。

(4) その他

特記事項なし。

<連絡事項>

資料に基づき説明が行われ、質問はなかった。